

近江舞子

しょうぶ苑 後援会

だより

会報 第19号

—平成28年7月—

社会福祉法人

志賀福祉会

近江舞子しょうぶ苑後援会

TEL (077) 596-2233

FAX (077) 596-2231

郵便振替口座

00990-0-111436



「未来に羽ばたけ白蝶よ 未来に羽ばたくしょうぶ苑」 蘭ラン ララ〜ン♪

求められる、前向きな変化

後援会長 松井 俊浩

しょうぶ苑後援会の皆様、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当会の取り組みに格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、おかげ様で今年、しょうぶ苑は無事創立22年目を迎えました。この二十余年の中で得られた経験や教訓は、非常に大きな財産であり、当然、これからの施設運営にノウハウとして還元されるべきものです。しかしその反面、「人口減少」「社会保障費の増加」等、日本の社会情勢は大きく変わり、過去のノウハウだけではなく、新たな知恵が必要とされる局面に達しております。

幸い、しょうぶ苑は皆様にあらゆる方面で支えられ、頼っていただき、地域社会になくてはならないインフラのひとつになりつつあります。後援会としても、しょうぶ苑のバックアップ体制を維持できるよう、必要に応じて前向きな「変化」を遂げつつ、将来末永く、必要とされる組織でありたいと考えております。

つきまして、会員の皆様および、この機会に新たに会員となっていたただける皆様におかれましては、誠に恐縮ですが、本年度の会費として一〇年額五百円を複数口お願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念しております。

仮称 真野しょうぶ苑に向けて

副苑長 村田 隆

平成二十七年四月の介護報酬改定は大変厳しいものでした。持続可能な社会保障制度のために今後も厳しい改正がされていくことが予想されています。又、本年三月には社会福祉法が改正され、社会福祉法人はより透明性の高い運営が求められるようになりました。

様々な意味で難しい状況が続いていきますが、それでも地域福祉を更に充実させるために、新たな特別養護老人ホームの開設を平成三十年三月に行うことを目指して計画をすすめています。ローズタウンの南、真野四丁目となる計画地は、JR堅田駅から徒歩十五分、湖西バイパス真野インターから車ですぐ、西は京都、東は守山へつながる、アクセスの大変良い所です。

利用者様にとって暮らしやすく、職員にとって使いやすいものとしていくことは当然ですが、社会福祉法人として、地域の方にも福祉避難所や交流等で活用して頂きやすいようにする必要があると考えています。より良いものをつくる為、開設準備委員会やチームを設け、様々な意見を取り入れ検討を行っています。ハード面だけではなく、ソフト面の検討を深めていくことが重要であり、マンパワーを充実させていくことが喫緊の課題となっています。

より多くの方に介護業界に興味をもって頂き、関わって（働いて）頂く社会にしていける為に、これからも努力していきます。今後も後援会の皆様の、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。



利用者様が笑顔で過ごせるように

短期・通所支援 課長 加藤 雅詔

当苑のデイサービスとショートステイは、お蔭様でたくさんの方の地域の皆様に利用いただいております。住み慣れた自宅から、日帰りのデイサービス、宿泊するショートステイに行くことを、旅行に行くことのような楽しみに思っていただけけるよう、また、出来るだけ居心地の良い場所の提供、出来るよう、職員一同日々努力してきました。

平成二十八年一月より職員体制が大きく変わり、いままで、デイサービスとショートステイは別の課として機能していましたが、この度、新しく「短期・通所支援課」となりました。これによって、日々変化する利用者様へ提供する介護サービスがいち早く共有出来ます。毎日のレクレーション等もデイサービスとショートステイの利用者様が一緒に楽しんでいただけます。

これからも職員一同、利用者様から一つでも多くの「笑顔」をいただけるよう努力していきます。

経口維持支援の導入について

「いつまでも口から食事を摂る為」

栄養係 石塚 晴奈

食事を摂ることは生命活動を維持する為には必要不可欠なことです。入居者の中には「食べることが一番の楽しみ！」と言ってくれる方もおられます。しかし、その一方で食事は喉詰りや誤嚥（ごえん）のリスクも伴います。現在のしょうぶ苑において、細刻み食・ソフト食だけの入居者は80名の内42名もおられ、切らずにそのまま提供している方はわずか9名です。

このように、咀嚼（そしゃく）・嚥下（えんげ）機能が低下してきており、誤嚥性肺炎や経口からの食事が摂れず脱水になり、入院せざるを得ない場合もあります。

そのような状況を踏まえて、しょうぶ苑ではいつまでも口から安全に食事が摂れるように、経口維持支援を積極的に行っています。施設の職員（ケアワーカー・看護師・介護支援専門員・管理栄養士）に加え、歯科医師・歯科衛生士にもチームに入ってもらい、より専門的に多方面から、継続して経口より安全に食事を摂ることを目標に活動しています。

まだ始まったばかりの活動ですが、今後とも入居者にとってより良い食事提供ができるように他職種と共に努めていきたいと思っております。



後援会から車椅子等、
寄贈いたしました

当施設の開設以来、21年の歳月が過ぎ、今日の入居者80名の平均年齢が89歳を超え、また半数の40名以上が90歳以上になりました。

そのような中で皆様大変元気に過ごされています。その理由の一つは、近隣の方を含め多くの方がボランティア活動にご協力いただいていることです。おかげさまで、入居者の生きがいや楽しみに大いに役立っています。

また、ボランティア活動以外にも、外部のサービスを導入することで、施設内サービスの隙間を埋めることが可能です。これによって、入居者の生活がさらに充実し、また体調管理にも役立っています。一部ですが、そのサービスををご紹介します。

- ① 訪問歯科診療による歯科治療を含む口腔ケアの助言及びアドバイス
- ② 整骨院によるマッサージサービス
- ③ 別のマッサージサービス
- ④ 訪問美容師によるヘアカットサービス
- ⑤ 理学療法士によるリハビリや身体の姿勢等のアドバイス
- ⑥ 移動図書館による本の貸し出しサービス
- ⑦ サービス評価委員会からの苦情内容による評価及びアドバイス

これらの各種サービスは、入居者の日々の生活の満足度アップに繋がっていると確信しています。関係者の皆様には職員一同感謝しています。引き続きご協力の程お願い致します。



施設看護師としての新たなスタートと取り組み 看護係 平田 ユリ子

はじめまして。この4月からしよぶ苑に入職しました平田と申します。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひいたします。

以前は病院の回復期リハビリテーション病棟で働いていました。リハビリ病棟といいますが、入院患者のほとんどが高齢の方で、骨折や脳卒中の患者様が多く、高齢者看護・介護の難しさを常にかけていました。毎日の看護、介護に疲れ何度なくじけそうになり辞めたいと思つこともありましたが、そんななか看護師を続けてこられたのは患者様一人ひとりの笑顔でした。笑顔に接すると自分の心も温かくなり、自信にもつながりました。

新たに施設看護師としてスタートし、自分に何ができるかを問ひかけながら毎日時間に追われていますが、一つ心掛けていることがあります。それは毎日自分と関わるすべての人に笑顔で接することです。笑顔で関わることで安心してホームでの生活を送っていただけるよう、また共に生活を支えるスタッフには安心して介護できるよう共に歩んでいく看護師になりたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

後援会便りによせて

居宅介護支援センター課

所長 澤井 ひとみ

超高齢化が進む中、様々な思いや課題を通しながら、私たち専門職は、皆様と関わり繋がることで、ご本人ご家族それぞれに安心した生活を提供出来るように、日々奮闘しています。研修等も含め、学ぶ機会を持ちつつ、皆様の思いに寄り添う事を大事に活動しております。介護保険制度が何度も改正される度に、手続きの分かりにくさが増え、不安を感じられる事があるかもしれません。その点は、充分な説明をさせてもらい、安心してご利用頂けるよう、引き続き心配りをして参ります。

在宅の利用者がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるように、介護、医療など含めた皆で支え合うというシステム整備が求められております。我々の各事業所内でも、スタッフが様々な連携を取り、また所在する大津北部地域についても、日頃より勉強会や連携会議などを活発に行う中で、御本人により良いサービス提供・御支援が出来るように切磋琢磨しております。皆様が安心して暮らせるよう、その相談窓口となれるように、今後とも努力していきたいと思っております。

訪問介護員としての思い

訪問支援課

所長 山口 マユミ

前任者の定年退職により、七月より後任をさせていただいております。今後ともよろしくお願ひします。

介護の仕事に携わるようになり、あつという間に、十七年という月日が経過しました。しよぶ苑に七年前に入職し、ホームヘルパーと施設ワーカーの仕事を経験させていただくことで、それぞれの利点を、施設介護と訪問介護、相互にフィードバックさせていただけたと自負しております。介護を通して、利用者様一人ひとりとじっくり向き合うこと、また、求めておられるサービスを適時適切に提供することの大切さに改めて気づかされました。そして、お互い気持ちを通じ合う充実感を感じることができました。

「満足頂ける介護とは？」「今一番希望されていることは？」「さらに良い介護をする為には、どう改善すべきか？」

このようなことをスタッフとともに常に協議しながら、業務に取り組んでいます。これからも、利用者様の声(心)に耳を傾け、スタッフ一丸となり、満足度の高いケアに努めてまいります。

御礼

謹啓 盛夏の候、後援会の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、苑の創設から今日に至るまで、あたたかいご支援を賜ってまいりましたことに、厚くお礼を申し上げます。

さて、このたびはリクライニング車椅子とクッションをご寄贈賜り、誠にありがとうございました。背もたれを倒せば、車椅子に乗ったまま休息姿勢が取れますし、体の特定部分に負担がかからないため、当苑利用者様の病院受診の際などにも大いに役立つものであり、感謝申し上げます。

「お困りの方に、手を差し伸べる」

本年四月に熊本県で大地震が発生した際、老人介護の福祉施設が被災された地域住民の避難先として、率先して受け入れ対応をされておりました。まさに我々は社会の公器としての役割を求められる存在であることを再確認しました。今後とも、ご利用者様の「生活及びサービスの質の向上」に、苑を挙げて取り組みます。

末筆ながら、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

敬具

平成二十八年七月吉日

特別養護老人ホーム

近江舞子しょうぶ苑

苑長 村田 憲治

平成 26 年度近江舞子しょうぶ苑後援会会計収支報告書

収入の部		単位 円	
項目	予算額	決算額	備考
会費	260,000	279,880	
普通会費	140,000	199,880	122名
特別会費	120,000	80,000	1万円以上8名
雑収入	102	16	預金利息
繰越金	50,698	50,698	
収入合計	310,800	330,594	

収入合計	330,594
支出合計	240,245
次年度繰越額	90,349

支出の部		単位 円	
項目	予算額	決算額	備考
事務費	33,000	30,245	
印刷費	3,000	602	
通信費	23,000	21,730	切手代
事務雑費	7,000	7,913	保管庫
事業費	275,000	210,000	
助成事業	245,000	180,000	車椅子8台
ボランティア事業	30,000	30,000	活動助成
雑費	2,800	0	
支出合計	310,800	240,245	

監査報告

平成 26 年度志賀福祉会近江舞子しょうぶ苑後援会会計収支決算について、監査の結果、適正と認めます。

平成 27 年 6 月 6 日 監事 澤 秋夫 (印)

監事 増田 敏行 (印)

平成 27 年度近江舞子しょうぶ苑後援会会計収支報告書

収入の部		単位 円	
項目	予算額	決算額	備考
会費	280,000	285,480	
普通会費	180,000	225,480	125名
特別会費	100,000	60,000	1万円以上6名
雑収入	21	24	預金利息
繰越金	90,349	90,349	
収入合計	370,370	375,853	

収入合計	375,853
支出合計	309,542
次年度繰越額	66,311

支出の部		単位 円	
項目	予算額	決算額	備考
事務費	53,000	78,462	
印刷費	5,000	30,640	
通信費	23,000	27,822	切手代
事務雑費	25,000	20,000	保管庫
事業費	300,000	231,080	
助成事業	260,000	190,000	リクライニング車椅子・クッション
ボランティア事業	40,000	40,000	活動助成
雑費	17,370	1,080	振込手数料
支出合計	370,370	309,542	

監査報告

平成 27 年度志賀福祉会近江舞子しょうぶ苑後援会会計収支決算について、監査の結果、適正と認めます。

平成 28 年 7 月 11 日

監事 増田 敏行 (印)

編集後記

起業をした場合、数年後に会社が生き残っている確率をご存知ですか？

調べましたところ



- 一年以内に 60%
- 五年以内に 80%
- 十年以内に 95%

が消滅すると言われてい

ます。勤務している会社が十年以上続いているれば、それは優良な会社で、さらにその会社が個人経営や中小・零細企業であれば、それは奇跡の選ばれた会社です。生き残っている会社とそうでない会社、そもそも何が違うのでしょうか？

その違いは、「世の中に必要とされ続けているかどうか」だそうです。しょうぶ苑は、創立後、今年で22年目を迎えました。利用者様にとって、地域にとって、必要なサービスを提供し続けていく義務があります。

昨年、既存会員の皆様のお声かけで、多くの方が後援会の趣旨にご賛同いただき、新会員となっていました。ありがとうございます。今秋もまた、新会員のお声かけをさせていただき予定をしております、ご紹介いただければ、説明に同行もさせていただきます。何卒ご理解のほど、よろしくお願いたします。

(後援会事務局)

